

一人で見る夢はダダの夢、皆で見る夢は実現する

活動期間：平成 26～28 年度 泉州農と緑の総合事務所 農の普及課

活動の背景：販売先を開拓し、規模を拡大した農業者でも、農産物の販売価格が安く、後継者に農業経営を託すことに悩んでいる

目標と課題：農業で食べていける「夢を語って共有する」、夢を実現する目標を持つ経営者を増やす

夢のある農業経営の事例収集と紹介



◇お互いの畑を見学



皆さんの考えや夢を伺う



現在の経営と経営改善計画の調査
(アンケート聞き取り、
農業者の経営改善計画書の活用)



◇夢の持てる農業のアンケート調査



皆さん、**お互いの、ほ場見学と夢を語る**



夢のある農業経営に向けた取組へ

皆さんの連携活動

例えば、共同販売(作物組合せ、販売コーナー、販売先、PR方法、) 栽培管理技術、共同資材購入、共同育苗、共同作業、経営の組織化、情報共有



◇自分の経営や夢を語る

- 成果：①40名の農業者から、直接、農業の夢を聞いた。(H26～)
②畑の見学とお互いの夢を語る場を4回持った。(H27～)
③夢を、具体的な目標と考える農業者が40名以上増えた。(H27～)

販路が増えてきているため
規模拡大を図る。

➡ 分散しているハウスを
集約。仲間と連携して、
販売品目を拡大する。

若者に農業を魅力ある
職業として選んでもらう

➡ 儲かる農業を実践。
そのためにも、
計画的な規模拡大。

後継者が育ち、経営を
長く続ける。

➡ 経営の安定のため、
基幹品目を確保し、
新品種、新品目の導入。
輸入球根の共同購入。

野菜農園としての価値を
多くの人に伝えたい。

➡ 農業ボランティアの
農業人材育成プログラム
や仕組みづくりが必要。

栽培部や販売部、加工部など部門
分けして、会社として確立する。

➡ 人材の育成と組織づくり。
規模拡大。必要な施設整備。
作業の省力化。
グループで堆肥づくり。など

露地野菜のセット販売

➡ お互い無理が言える
仲間と販売連携。
端境期の野菜栽培技術
を習得

良品安定生産と省力化

➡ 土づくり、用水確保
被覆資材や優良な
品種の導入

自分のトマト栽培の見える化

➡ トマトの生育や環境の調査を
積み重ねて、データを分析。
情報交換できる仲間づくり。

夢がいっぱい

みんなに話したい夢

夢じゃない。目標に。

長い時間をかけて、経営移譲する。

➡ 魅力ある仕事に。農業に専念
できる環境をつくる。
生産と営業をコーディネート
する人材が必要

天候に左右されず、安定した
農業経営がしたい。

➡ 食農教育で農業を理解して
くれる消費者を育てる。
仲間づくりが大切だ。

観光農園やクラインガルテンのような体験農園
を組み合わせた交流型農業の拠点づくり。

➡ 大型バスが入れる道などのインフラ整備や
運営管理できる人材の育成が必要。

経営を法人化し、これまで築いてきた
施設やノウハウを意欲ある人に引き継ぐ。

➡ 意欲ある若い人がいれば、雇用し、
育て、番頭的な人にして経営移譲。

経営規模を拡大する。

➡ 立地条件を活かし観光農業や
体験農業で規模拡大したい。

地域の農業を守っていききたい。

➡ 鮮度や味を活かせる地場の葉菜類の
契約販売。原価計算して計画的に地域の
Uターン農業者と連携(優良品種、周年栽培
、省力化)、安定生産の施設と組織が必要